

公 告 第186号
令和 4年 8月 1日

被 保 険 者 各 位

三越伊勢丹健康保険組合
理 事 長 藤 森 健 至
(公 印 省 略)

令和3年度 事業報告について

令和3年度の事業報告は7月27日の組合会で認定されました
ので別紙のとおり公告します。

組合記号番号	業種	設立年月日
東 170	物品販売業	昭和 15 年 5 月 31 日

令和 3 年 度

事業報告書

第1 事業概要

1. 健康保険組合を取り巻く環境

新型コロナウイルス感染症は、変異株への置換もあり、感染再拡大の危機との隣り合わせの状況が続いています。加えて、ロシアによるウクライナ侵攻は資源価格高騰や金融市場の動揺を招き、このことは早速消費者物価の上昇につながるなど、景気の下振れ懸念は避けることができず、引き続き厳しい状況が続くものと見込まれます。

健康保険では、まず支出の観点において、団塊の世代が後期高齢者に達することによる「2022年危機」が懸念されてきましたが、それを前にして、新型コロナウイルス感染症に端を発する経済状況の悪化、それに伴う企業収益の減少による保険料収入の大幅な減少に直面をし、財政状況の悪化スピードが加速しました。

2022年度は「2022年度危機」を迎えるとともに、新型コロナウイルス感染症の影響により一時的に減少した医療費にも反動が生じるとみられます。2022年度に限っては高齢者医療制度等への拠出金は抑制されるものの、今後の支出負担はますます厳しさを増すことになります。

支出負担が増加する一方、保険料収入の増加を見込むことは厳しく、従来通りの運営では、保険料率の上昇なくして、これを維持していくことは困難となっています。また、経済状況に好転がみられない中、保険料を負担する事業主、被保険者にもその上昇を受け入れる余地は少ないといえ、結果として、解散を視野に検討をおこなう健康保険組合も多く存在する、極めて深刻な状況にあります。

2. 三越伊勢丹健康保険組合の収支概要

令和3年度（以下、「当年度」という。）における、当組合の収支概要は以下の通りです。

（1）一般勘定

当年度の一般勘定における収支差引額は、以下の内容により、令和2年度（以下、「前年度」という。）に対し324百万円減の955百万円となりました。

① 収入

保険料は下記要素を基に計算されますが、被保険者数の減少が当年度も続いたことに加え、新型コロナウイルス感染症に伴い賞与が大きく減少したことにより、保険料収入は前年度に対し737百万円減の7,616百万円となりました。なお、令和元年度との比較においては、1,631百万円の減少となります。

その他を含めた収入合計は、前年度に対し575百万円増の10,368百万円となりましたが、これは収支均衡が図れないことにより、別途積立金からの繰入額を前年度に対し1,100百万円増の2,000百万円としたためであり、経常収入

の観点においては、前年度に対し 744 百万円減の 7,817 百万円となりました。

- ・保険料率

平成 25 年 3 月 1 日の改定以降、99.000/1,000 を維持しています。

- ・被保険者数

年間平均では、前年度に対し 1,309 人減の 19,177 人でした。なお、令和元年度に対しては 3,244 人の減少となります。

減少数の大きい事業所として、(株)三越伊勢丹 (405 人減)、(株)三越伊勢丹 ヒューマン・ソリューションズ (260 人減)、(株)ソシエ・ワールド (166 人減) が挙げられます。

- ・標準報酬月額

平均標準報酬月額は、前年度に対して 2,668 円増の 289,166 円でした。

被保険者数の減少において、10 等級（標準報酬月額 134 千円）から 17 等級（同 200 千円）のレンジでの減少数が大きかったことから、相対的に標準報酬月額の高い被保険者の割合が増えたため、といえます。

- ・総標準賞与額※

年間合計では、前年度に対し 3,919 百万円減（前年度比 76.7%）の 12,867 百万円となりました。

なお、これを被保険者一人当たりには換算したとき、前年度の 839,135 円に対し 152,876 円減（前年度比 81.8%）の 686,259 円となります。

※保険料免除者は除いて計算

② 支出

下記内容により当年度の支出合計は、前年度に対し 899 百万円増の 9,413 百万円となりました。

- ・保険給付費

前年度に対し 256 百万円増（前年度比 106.7%）の 4,081 百万円となりました。

加入者数が減少していながら、前年度に生じた新型コロナウイルス感染症による受診控えからの反動も影響したものとわれ、増加となりました。被保険者一人当たりには換算したとき、前年度の 186,722 円に対し 26,101 円増（前年度比 114.0%）の 212,823 円と、その増加がより顕著に見えます。

- ・拠出金

大きくは、前期高齢者納付金と後期高齢者支援金に二分されます。

前年度に対し、前期高齢者納付金は 885 百万円増、後期高齢者支援金は 227 百万円減であり、拠出金全体では 658 百万円増の 4,614 百万円でした。

「保険」本来の概念から外れる支出であるこの拠出金が、当年度においては保険給付費を大きく上回る事態となり、当組合の財政を圧迫する大きな要因となっています。

前期高齢者納付金の大幅な増加については、算出の基礎数値のうち「前期高齢者 1 人当たり給付費」が、前年度の 353,398 円から 428,910 円へと大幅

に増加したことが最大の要因となります。

- ・保健事業費

保健事業費は、3 百万円減の 463 百万円でした。

このうち特定保健指導事業費は、後述の事業概要に記載の通り、当年度より特定保健指導の申込・参加勧奨の方法を変更したことにより、実施率が向上し、これに伴い実施費用が増加し、12 百万円増の 25 百万円となりました。

また疾病予防費は、従業員数減少に伴い健康診断にかかる費用を抑制できたこと、事業概要に記載の通り、インフルエンザ予防接種や市販薬購入の参加者数が減少したことが費用減につながり、18 百万円減の 410 百万円となりました。

- ・事務費

事務所費は、13 千円増の 144 百万円でした。

職員に係る人件費等において賞与支給額が減少した一方で、前年度にはなかった退職金支払いが生じたこと、後述する行政実地監査への対応もあり消耗品費が 369 千円増、コピー使用料が 158 千円増であった他、BCP の観点からモバイル端末の台数を増やしたことに伴うIMS への支払いが 62 千円増加するなど、費用抑制に努め、多くの支出項目で削減をしながらも、これら理由により、前年度をわずかながら上回る結果となりました。

(2) 介護勘定

当年度の介護勘定における収支差引額は、以下の内容により、前年度に対し 20 百万円増の 81 百万円となりました。

① 収入

保険料は下記要素を基に計算されますが、保険料収入は、前年度に対し 73 百万円減の 880 百万円となりました。その他を含めた収入合計は、前年度に対し 33 百万円減の 1,000 百万円となりました。

- ・保険料率

平成 24 年 3 月 1 日の改定以降、16.600/1,000 を維持しています。

- ・第 2 号被保険者たる被保険者数

年間平均では、前年度に対し 491 人減の 11,984 人でした。

- ・標準報酬月額

平均標準報酬月額は、前年度に対して 1,297 円増の 309,155 円でした。

- ・総標準賞与額

一般勘定と同様の傾向により、前年度に対し 2,852 百万円減少（前年度比 75.5%）の 8,789 百万円となりました。

② 支出

介護納付金として、当年度は 918 百万円を納めました。これは前年度に対し、53 百万円の減少です。

3. 三越伊勢丹健康保険組合の事業概要

当年度は、関東信越厚生局による総合実地監査が実施されました。実地監査は、平成 26 年度の経理実地監査以来 7 年振り、総合実地監査としては平成 21 年度以来 12 年振りのことでした。

改善を要する事項として 7 点の指摘を受けましたが、過去の監査に対し指摘数は少なく、従前にも増して、事業運営が適正におこなわれていることの証左となります。また、いずれも事件・事故を招くような重大な内容ではなく、速やかに改善をおこないました。

さて当年度の事業概要については、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、保険給付では前年度からの反動が顕著に見られ、保険給付額としては上昇に転じています。保健事業では、新型コロナウイルス感染症対策を講じ事業を実施することと併せ、コロナ禍における環境変化への対応、加入者の利便性向上を目的にデジタルツールの強化を図りました。

(1) 保険給付

当年度の保険給付費は、前年度に対し 256, 122 千円増（前年度比 106. 7%）の 4, 081, 305 千円でした。

ほぼすべての支払科目が減少した前年度から一転、当年度は多くの科目において増加をしました。特に、被扶養者にかかる費用の増加が大きく、家族療養費は前年に対し 167, 474 千円増（前年度比 130. 8%）、家族薬剤支給は前年に対し 7, 820 千円増（前年度比 105. 8%）、また金額規模は大きくないものの、家族訪問看護療養費は前年度比 238. 9%、家族埋葬料は前年度比 200. 0%と増加率は大変大きなものとなっています。

被保険者本人では、最も金額規模の大きな療養給付費が前年に対し 63, 865 千円増（前年度比 103. 4%）、次いで大きな薬剤支給が前年に対し 5, 434 千円（前年度比 101. 1%）でした。増加幅がさほど大きくないように見えるものの、これは被保険者数の減少に伴うものであり、被保険者一人当たり額にした際の前年度比は、療養給付費は 110. 4%、薬剤支給は 108. 0%となります。傷病手当金についても前年度に対し 10, 109 千円増（前年度比 103. 6%）、被保険者一人当たり額でも前年度比 110. 7%でしたが、新型コロナウイルス感染症による療養休職者への給付件数が増加したことから、件数の伸びに比べ日数の伸びが小さく、結果として 1 件当たり額においては前年度比 98. 2%と微減しました。

高齢者療養給付費は、件数、日数ともに前年度に対し減少しながら、2, 504 千円増（前年度比 107. 0%）であり、これは当該高齢者における一人当たり保険給付費を上げることに他ならないことから、令和 5 年度の前期高齢者納付金算出に大きな影響を及ぼすものとして危惧するところです。

(2) 保健事業

本年度は組合員の利便性向上に向けた、ポータルサイトの拡充や各種 WEB ツール（MY

HEALTH WEB・ホームページ・yammer 等) の活用等の取組みを行いました。また、インフルエンザ予防接種の会場運営や各種会議等については、新型コロナ感染症対策を実施して行いました。

●健保ポータルサイト (MY HEALTH WEB) の拡充

昨年度に導入した健康ポータルサイトは、単にコンテンツを集約するだけでなく、各コンテンツへのログイン簡略化機能 (シングルサインオン) を設定し、加入者の利便性向上を図りました。現在のコンテンツは健診関連 (予約・結果確認)、医療費関連 (医療費・給付金明細・後発品差額情報)、インフルエンザ関連 (予約・補助金)、家庭用常備薬あっせん WEB サイトとの連携などに加え、個人のバイタル情報の記録機能や各種健康情報を定期的に配信することにより、加入者のヘルスリテラシーの向上を促します。

●特定保健指導

以前より実施率のアップが課題でしたが、健診業務を委託しているバリューHR 社に、当年度から特定保健指導の申込受付業務も委託することにより、健診～特定保健指導実施までの導線が一元化され、よりスムーズに対象者への案内が可能となりました。また、案内文を HDS と健保の連名で発信することで組合員の健康や健診結果に対する意識の向上を図り、その結果、動機付け支援は 446 件 (152 件増)、積極的支援は 377 件 (143 件増) の実施となりました。

●インフルエンザ

昨年に引き続き、予約システムを利用した定数管理と接種時間厳守の要請により、スムーズな運営ができましたが、集団接種実施者数については前年比 80.9% (2,200 名減) となり、これは新型コロナワクチン接種間隔の問題が影響したと思われます。

一方、集団接種以外を対象とした補助金制度は、対象を全加入者へ拡大し接種機会の拡充を図り、一般被保険者は前年比 143.9% 増 (176 名増) の 577 名、今回から対象とした被扶養者は 569 名の利用があり、補助金利用者合計では 1,146 名 (745 名増) と大幅増となりました。

●市販薬購入

従来は、紙案内を各事業所・所属に配布していましたが、コロナ禍による各社の勤務形態の変化により情報が届きにくいことや、健保の業務効率改善の観点から、WEB ツール (ホームページ・yammer・MY HEALTH WEB) を主とした案内発信へ変更しました。また、申込み時の利便性向上のため、MY HEALTH WEB からシングルサインオンでの購入サイトアクセスを可能としました。購入者数は、1,160 名と前年比 45.2% (1,409 名減) となりましたが、これは感染症予防の習慣が定着したことによる風邪薬等の市販薬需要の減少や、マスク等の衛生用品の市場充実による需要減少が原因と思われます。

●新規事業 (一部の事業所でのトライアル実施)

生活習慣病やその重症化の予防に効果が見込める「口腔セルフチェック・ケア」では、実施者の 81% が、「この事業が役に立った」と、また、95% が「口腔ケアを丁寧に実施しようと思う」と回答しており、口腔ケアに対する意識変容、行動変容につながっています。

当組合は女性が7割を占めることから、女性特有の疾病リスクの早期発見、早期治療が課題となりますが、子宮頸がんリスクをはかる HPV ウイルスセルフチェックでは、対象者を節目検診の開始前年齢（若年層）に絞り実施しました。実施率は25.4%と4人に1人が子宮頸がんへの関心を持っていることが伺える結果となりました。

第2 庶務の概要

1. 事務所

所在地	摘要
東京都新宿区新宿五丁目17番18号	

2. 組合会

開会 年月日	議決又は報告事項の件名	議決又は報告事項の概要	議員の出席状況		議決又は報告の結果	
			出席	欠席	可	否
R03.6.11 (第225回)	1.監事選挙実施に関する件	互選議員の退任に伴う互選監事選挙を郵便投票により執り行うことの承認を得た。	34	0	(書面) 34	0
R03.7.26 (第226回)	1.理事長専決処分に関する件	原案通り承認された。 (1)組合規約の一部変更 ・「株式会社 レオテックス」の事業所所在地の変更 ・「株式会社 三越伊勢丹研究所」の事業所削除 (2)予算流用の件 ・前期高齢者納付金で拠出額が当初予算を超えたため ・後期高齢者支援金で拠出額が当初予算を超えたため 上記理由により予算流用を行った。 【流用後予算額】 納付金 3,930,058,000 円 前期高齢者納付金 1,988,349,196 円 前期高齢者納付金 1,988,349,196 円 (+1,450,196 円) 後期高齢者支援金 1,941,625,804 円 後期高齢者支援金 1,941,625,804 円 (▲1,450,196 円) 納付金 3,930,058,000 円 後期高齢者支援金 1,941,627,035 円 後期高齢者支援金 1,941,627,035 円 (+1,231 円) 退職者給付拠出金 71,423 円 (▲577 円) 病床転換支援金 10,346 円 (▲654 円) (3)予算充当の件 ・後期高齢者支援金で拠出額が当初予算を超えたため 【充当後予算額】 納付金 3,955,819,481 円 後期高齢者支援金 1,967,388,516 円 後期高齢者支援金 1,967,388,516 円 (+25,761,481 円) 予備費充当額 (▲25,761,481 円)	33	1	(書面) 33	1

開会 年月日	議決又は報告事項の件名	議決又は報告事項の概要	議決の出席状況		議決又は報告の結果	
			出席	欠席	可	否
	2.組合規約諸規程一部変更に関する件	原案通り承認された。 ・「株式会社 三越伊勢丹ヒューマン・ソリューションズ」の事業所所在地変更 ・「株式会社 エムアイ友の会」の事業所所在地変更 ・特定健診、特定保健指導の実施に関する基準の一部改正に伴い、個人情報保護管理規程「別表 2」の変更	33	1	(書面) 33	1
	3.監査報告に関する件 (報告事項)	書面にて組合業務の執行状況、会計処理及び財産管理状況の検査結果について、規程に基づいて実施し、その結果について適正であった旨、報告があった。	33	1		
	4.令和 2 年度事業報告並びに決算に関する件	原案通り承認された。 収入は、被保険者数減少に加え、新型コロナウイルス感染症に伴う業績悪化を受け賞与が大きく減少。 支出は、コロナ禍による受診控えが生じ保険給付費が減少したのに対し、納付金は前期高齢者一人当たり給付費が増加したことにより大幅に増加となった。 最終的に経常収入支出差引額は 160 百万円の黒字決算となった。 令和 2 年度事業報告 (1)事業概要 (2)庶務の概要 (3)事業主・事業所・被保険者等の異動状況 (4)保険給付の概要 (5)直営医療機関 及び指定医療機関 (6)保健事業の概要 (7)営繕費の概要 (8)決算残金処分 (9)財産の異動状況 (10)組合債 (11)その他重要事項 (12)三越伊勢丹健康保険組合 財産目録	33	1	(書面) 33	1

開会 年月日	議決又は報告事項の件名	議決又は報告事項の概要	議員の出席状況		議決又は報告の結果	
			出席	欠席	可	否
		令和 2 年度決算報告 【一般勘定】 平均被保険者数 20,486 名 平均標準報酬月額 286,498 円 収入決算額 9,793,110 千円 支出決算額 8,513,589 千円 収支差引額 1,279,521 千円 経常収入決算額 8,560,737 千円 経常支出決算額 8,400,894 千円 経常収支差引額 159,843 千円 【介護勘定】 平均介護保険第 2 号被保険者たる 被保険者数 12,475 名 平均標準報酬月額 307,858 円 収入決算額 1,033,213 千円 支出決算額 972,303 千円 収支差引額 60,910 千円				
	5.令和 2 年度決算残金処分 に関する件	原案通り議決した。 【一般勘定】 別途積立金 1,278,948,280 円 繰越金 0 円 財政調整事業繰越金 572,566 円 【介護勘定】 準備金 60,909,248 円	33	1	(書面) 33	1
	6.今後の財政課題について (報告事項)	新型コロナウイルス感染症の影響 による業績悪化に伴い、健保の収支 バランスも悪化しており、このまま 回復とならない場合には、令和 5 年 度から保険料改定の検討が必要で あることの報告を行った。	33	1		
R03.11.19 (第 227 回)	1.互選監事選挙実施に関する 件	互選議員の退任に伴う互選監事選 挙を郵便投票により執り行うこと の承認を得た。	34	0	(書面) 34	0
R04.2.28 (第 228 回)	1.実地指導監査に関する件 (報告事項)	令和 3 年 10 月 20 日に厚生労働省関 東信越厚生局による実地指導監査 (総合監査)を受けた。結果として は書面通知により改善・整備が必要 とされた事項は速やかに対応し、通 知以外については、順次改善してい くことの報告を行った。	34	0		

開会 年月日	議決又は報告事項の件名	議決又は報告事項の概要	議員の出席状況		議決又は報告の結果	
			出席	欠席	可	否
	2.中間監査報告に関する件 (報告事項)	中間監査を経理業務中心に実施し、その結果について適切・妥当であった旨、書面にて報告を行った。	34	0		
	3.理事長専決処分に関する件	原案通り承認された。 (1)組合諸規程の一部変更 ・「被扶養者の認定基準」において厚生局発出通知と見解の一致していない箇所の見直しを行った。 ・「個人情報保護管理規程」の「別表2」において、オンライン資格確認の運用に伴い、特定健診データの提供を受けることが可能になることから、利用目的を規定する別表2に条文を追加する必要があるため。 ・先に提出した「被扶養者の認定基準」を訂正したもの。 (2)予算流用の件 ・家族訪問看護療養費が当初予算を超えたため ・家族埋葬料が当初予算を超えたため 上記理由により予算流用を行った。 【流用後予算額】 保険給付費 3,954,235 千円 法定給付費 388,464 千円 家族訪問看護療養費 6,958 千円 (+1,711 千円) 高齢者療養給付費 64,713 千円 (▲1,711 千円) 保険給付費 4,322,345 千円 法定給付費 4,255,205 千円 家族埋葬料 155 千円 (+45 千円) 高額療養費 49,337 千円 (▲45 千円) (3)収入支出変更予算届出の件 予算の流用や充当でも不足が生じることが判明したため、以下の予算変更をおこなった。 ＜収入＞ 繰入金 2,371,535 千円 別途積立金繰入 2,368,135 千円 別途積立金繰入 2,368,135 千円 (+368,135 千円)	34	0	(書面) 34	0

開会 年月日	議決又は報告事項の件名	議決又は報告事項の概要	議員の出席状況		議決又は報告の結果	
			出席	欠席	可	否
		<支出> 保険給付費 4,322,345 千円 (368,110 千円) 法定給付費 4,255,205 千円 (366,741 千円) 療養給付費 2,025,000 千円 (+76,357 千円) 薬剤支給 549,989 千円 (+31,554 千円) 傷病手当金 299,990 千円 (+6,866 千円) 埋葬諸費 1,100 千円 (+251 千円) 出産育児一時金 131,981 千円 (+16,837 千円) 家族療養費 769,995 千円 (+220,894 千円) 家族訪問看護療養費 11,997 千円 (+6,750 千円) 家族薬剤支給 145,984 千円 (+4,301 千円) 第二家族療養費 8,988 千円 (+212 千円) 家族出産育児一時金 15,989 千円 (+2,719 千円) 付加給付費 67,140 千円 (+1,369 千円) 合算高額療養費付加金 7,696 千円 (+1,369 千円) 積立金 1,467 千円 (+25 千円) 積立金繰入 1,467 千円 (+25 千円) 退職積立金繰入 1,467 千円 (+25 千円)				
	4.組合規約および諸規程の変更に関する件	原案通り承認された。 (1)組合規約の一部変更 ・規約例に倣っての変更と、実態に基づいていない文言の修正。 (2)組合諸規程の廃止・新設 ・会計事務取扱規程は実地指導監査の指摘を受け、現行を廃止し、規程例に倣い新設。 ・財産管理規程は実地指導監査の指摘を受け、現行を廃止し、規程例に倣い新設。 ・一部負担還元金支給手続規程を新設する。 ・療養費付加金支給細則は一部負担還元金支給手続規程を新設したことにより廃止する。	34	0	(書面) 34	0

開会 年月日	議決又は報告事項の件名	議決又は報告事項の概要	議員の出席状況		議決又は報告の結果	
			出席	欠席	可	否
		(3)組合諸規程の変更 ・組合会議員選挙執行規程は実地指導監査により整備を要する旨の指摘を受けたことから一部文言の変更を行った。 ・文書保存規程は規程例に倣い変更を行った。 ・付加給付支給規程は規程例に倣い変更を行った。 ・高額療養費支給手続規程は軽微な文言の修正を行った。 ・高額療養費資金貸付規程は軽微な文言の修正を行った。 ・出産費資金貸付規程は軽微な文言の修正と番号の記載方法の変更を行った。 ・出産育児一時金等内払金支払規程は表記誤りの変更と文言削除書式変更を行った。 ・情報セキュリティ基本方針は実地指導監査で指摘を受けたことから一部文言の変更を行った。 ・システム等運用管理規程は実地指導監査で指摘を受けたことから一部文言の変更を行った。				
	5.事業所の削除予定に関する件（報告事項）	(株)ソシエ・ワールドは令和3年7月1日付 TBC グループへ株式譲渡後も当健保に加入し続けていたが、東京化粧品健保へ令和4年6月1日付で移管予定となったので、5月半ばまでに認可申請を行うことの報告を行った。	34	0		
	6.今後の財政見通しについて（報告事項）	(株)ソシエ・ワールド脱退に伴う影響及び令和3年度の決算見込を踏まえて令和4年度予算編成を行った旨と、令和5年度以降の見通し案の報告を行った。	34	0		
	7.令和4年度予算（案）並びに事業計画に関する件	原案通り承認された。 (1)予算基礎数値 【一般勘定】 ①一般保険料率 99.000/1000 負担割合 事業主 57.000/1000 被保険者 42.000/1000 ②被保険者数 18,175 人 ③平均標準報酬月額 289,584 円	34	0	(書面) 33	1

開会 年月日	議決又は報告事項の件名	議決又は報告事項の概要	議員の出席状況		議決又は報告の結果	
			出席	欠席	可	否
		④予算額 収入支出予算額 8,667,877 千円 経常収入予算額 7,309,385 千円 経常支出予算額 8,177,231 千円 経常収支差引額 ▲867,846 千円 【介護勘定】 ①介護保険料率 16.600／1000 負担割合 事業主 8.300／1000 被保険者 8.300／1000 ②介護保険第 2 号被保険者たる 被保険者数 11,440 人 ③平均標準報酬月額 310,376 円 ④予算額 収入支出予算額 910,000 千円				

3. 議員及び理事（令和 4 年 3 月 3 1 日現在）

種 別	議 員			理 事			任 期
	定 員	現 員	欠 員	定 員	現 員	欠 員	
選 定	17	17	0	5	5	0	平成 2 年 8 月 22 日から 令和 4 年 8 月 21 日まで
互 選	17	17	0	5	5	0	平成 2 年 8 月 22 日から 令和 4 年 8 月 21 日まで
計	34	34	0	10	10	0	

第3 事業主・事業所・被保険者等の異動状況

1. 基礎数値の動向

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	対前年増減	前年度比
	事業主数(3月末) (注)平成30年度までは、被保険者不在の事業所も含む	37	36	33	33	32	▲ 1	-
一般勘定	年間平均 被保険者数(人)	男	6,933	6,811	6,337	5,846	▲ 375	93.6%
		女	16,858	17,256	16,084	14,640	▲ 934	93.6%
		計	23,791	24,067	22,421	20,486	▲ 1,309	93.6%
	3月末 被保険者数(人)	男	6,907	6,530	5,982	5,602	▲ 342	93.9%
		女	17,443	16,407	14,931	13,962	▲ 837	94.0%
		計	24,350	22,937	20,913	19,564	▲ 1,179	94.0%
	年間平均 保険料免除者数(人)	男	0	1	2	1	2	300.0%
		女	479	539	515	482	▲ 57	88.2%
		計	479	540	517	483	▲ 55	88.6%
	1事業主当り 被保険者数(人/3月末)		658	637	634	593	▲ 18	96.9%
	被保険者の平均年齢(歳/10月末)	男	45.82	45.77	45.96	46.27	0.43	100.9%
		女	41.72	41.62	42.15	42.76	0.84	102.0%
		計	42.92	42.80	43.24	43.77	0.71	101.6%
	被扶養者数(人/3月末)	男	2,814	2,619	2,388	2,242	▲ 151	93.3%
		女	5,472	4,988	4,442	4,098	▲ 315	92.3%
		計	8,286	7,607	6,830	6,340	▲ 466	92.6%
	扶養率(人/3月末)		0.340	0.332	0.327	0.324	▲ 0	98.6%
	保険料率(00/1000)		99.00/1000	99.00/1000	99.00/1000	99.00/1000	-	-
	平均標準報酬月額(円/年間平均額) ※保険料免除者を除く	男	383,847	380,703	389,284	389,890	3,135	100.8%
		女	227,988	233,522	240,330	243,814	2,589	101.1%
		計	274,337	276,121	283,413	286,498	2,668	100.9%
	総標準賞与額(千円/年間合計) ※保険料免除者を除く		16,744,018	20,003,710	20,091,710	16,785,227	▲ 3,918,554	76.7%
	被保険者1人当り標準賞与額(円) ※保険料免除者を除く		718,257	850,245	917,262	839,135	▲ 152,876	81.8%
	年間総報酬額(千円) ※保険料免除者を除く		93,488,148	97,959,295	94,586,250	85,555,061	▲ 7,629,508	91.1%
	被保険者1人当り年間報酬総額(円) ※保険料免除者を除く		4,010,301	4,163,697	4,318,218	4,277,111	▲ 120,860	97.2%
	法定給付費等に要する保険料率 (00/1000)		85.22	88.00	81.03	90.23	20.63	122.9%
	実質保険料率(00/1000)		89.92	93.28	86.19	95.74	21.13	122.1%
介護勘定	年間平均 第2号被保険者数(人)	男	4,539	4,392	4,132	3,856	▲ 192	95.0%
		女	11,873	11,822	11,243	10,423	▲ 434	95.8%
		計	16,411	16,214	15,374	14,279	▲ 626	95.6%
	年間平均 第2号被保険者たる被保険者数(人)	男	4,496	4,345	4,089	3,820	▲ 191	95.0%
		女	9,539	9,663	9,292	8,655	▲ 300	96.5%
		計	14,034	14,008	13,381	12,475	▲ 491	96.1%
	年間平均 保険料免除者数(人)	男	0	0	0	1	▲ 1	0.0%
		女	40	55	62	51	▲ 3	94.1%
		計	40	56	62	52	▲ 4	92.3%
	介護保険料率(00/1000)		16.60/1000	16.60/1000	16.60/1000	16.60/1000	-	-
	年間平均 標準報酬月額(円) ※保険料免除者を除く	男	430,693	427,953	433,518	432,050	2,234	100.5%
		女	236,953	242,960	249,796	252,721	1,768	100.7%
		計	299,191	300,567	306,197	307,858	1,297	100.4%
	総標準賞与額(千円/年間合計) ※保険料免除者を除く		11,458,509	13,906,508	13,942,414	11,641,275	▲ 2,851,862	75.5%
	第2号被保険者たる被保険者1人当り 標準賞与額(円) ※保険料免除者を除く		818,816	996,739	1,046,806	937,074	▲ 200,696	78.6%
	年間総報酬額(千円) ※保険料免除者を除く		61,701,055	64,228,637	62,881,268	57,535,514	▲ 4,465,212	92.2%
	第2号被保険者たる被保険者1人当り 年間報酬総額(円) ※保険料免除者を除く		4,409,108	4,603,543	4,721,170	4,631,370	▲ 185,132	96.0%

２．事業所別基礎数値

名称 基礎数値	年間平均 被保険者数	平均年齢	年間平均 標準報酬月額	被保険者１人当 年間一般保険料額
㈱三越伊勢丹	8,582人	45.3歳	319,941円	466,482円
㈱札幌丸井三越	1,091人	48.0歳	235,821円	319,535円
㈱函館丸井今井	122人	49.9歳	207,975円	282,026円
㈱仙 台 三 越	445人	44.3歳	239,198円	322,473円
㈱新潟三越伊勢丹	562人	44.0歳	249,647円	364,716円
㈱静 岡 伊 勢 丹	332人	44.5歳	235,234円	310,920円
㈱名 古 屋 三 越	790人	44.8歳	287,886円	383,037円
㈱広 島 三 越	183人	46.9歳	256,611円	335,400円
㈱高 松 三 越	384人	43.5歳	212,456円	281,525円
㈱岩 田 屋 三 越	1,061人	47.6歳	265,951円	356,885円
㈱三越伊勢丹プロパティ・デザイン	218人	41.7歳	335,794円	471,571円
㈱エムアイフーズスタイル	1,178人	46.0歳	252,197円	342,268円
㈱エムアイカード	682人	43.4歳	306,660円	438,435円
㈱三越伊勢丹システム・ソリューションズ	315人	40.7歳	421,270円	612,594円
㈱三越伊勢丹ヒューマン・ソリューションズ	825人	41.0歳	219,880円	278,407円
㈱三越伊勢丹ビジネス・サポート	298人	47.2歳	252,253円	355,255円
㈱三越伊勢丹ソレイユ	98人	35.1歳	148,070円	199,455円
㈱レオテックス	69人	49.5歳	216,868円	278,857円
㈱北海道百科	53人	42.5歳	223,224円	297,710円
㈱三越伊勢丹ニッコウトラベル	164人	41.2歳	304,721円	434,845円
㈱ソシエ・ワールド	1,206人	36.1歳	261,733円	322,063円
任意継続被保険者	325人	60.5歳	219,547円	257,397円
(注) 事業所名称は令和４年３月現在の名称で表した。 被保険者数が５０人未満の事業所においては記載を除外した。 なお、除外した事業所は下記の通りとなる。 ㈱三越伊勢丹ホールディングス、㈱伊勢丹会館、興隆㈱、㈱センチュリートレーディングカンパニー、 ㈱伊勢丹スイング、三越伊勢丹グループ労働組合、㈱松山三越、㈱スタジオアルタ ㈱三越伊勢丹ギフト・ソリューションズ、㈱IM Digital Lab、三越伊勢丹健康保険組合				

第4 保険給付の概要

1. 保険給付費

	項目 種別		令和3年度（年平均被保険者数 19,177人）					前年度対比（％）				
			件数	日数	金額 （千円）	1件当金額 （円）	被保険者 1人当金額 （円）	件数	日数	金額	1件当金額	被保険者 1人当金額
法定給付	被保険者	療養給付費	156,884	230,948	1,961,783	12,505	102,299	101.5%	99.7%	103.4%	101.9%	110.4%
		一部負担金減免額	0	0	0	—	—	—	—	—	—	—
		薬剤支給	78,248	89,285	520,930	6,657	27,164	100.7%	100.2%	101.1%	100.3%	108.0%
		入院時食事・生活療養費	1,184	22,622	4,830	4,079	252	94.4%	92.3%	94.6%	100.2%	101.1%
		療養費	5,630	20,269	22,867	4,062	1,192	101.0%	99.4%	100.0%	99.0%	106.8%
		訪問看護療養費	70	317	2,821	40,300	147	77.8%	118.3%	117.7%	151.3%	125.7%
		移送費	0	—	0	—	—	0.0%	—	0.0%	—	—
		傷病手当金	1,749	55,652	288,058	164,699	15,021	105.5%	102.1%	103.6%	98.2%	110.7%
		埋葬諸費	19	—	950	50,000	50	158.3%	—	158.3%	100.0%	169.1%
		出産育児一時金	317	—	125,128	394,726	6,525	102.3%	—	103.0%	100.8%	110.1%
		出産手当金	289	27,185	137,447	475,595	7,167	99.7%	100.0%	94.6%	94.9%	101.1%
	被保険者計		244,390	—	3,064,814	12,541	159,817	101.2%	—	102.5%	101.3%	109.5%
	被扶養者	家族療養費	48,416	71,886	710,548	14,676	37,052	104.3%	104.1%	130.8%	125.4%	139.8%
		家族減免額	0	0	0	—	—	—	—	—	—	—
		家族訪問看護療養費	126	1,076	10,385	82,421	542	120.0%	177.3%	238.9%	199.1%	255.2%
		家族薬剤支給	25,670	30,765	141,671	5,519	7,388	105.7%	107.3%	105.8%	100.1%	113.1%
		第二家族療養費	1,529	5,980	7,972	5,214	416	100.3%	98.3%	103.9%	103.6%	111.0%
		家族移送費	0	—	0	—	—	—	—	—	—	—
		家族埋葬料	4	—	200	50,000	10	200.0%	—	200.0%	100.0%	213.7%
		家族出産育児一時金	28	—	10,904	389,429	569	84.8%	—	80.7%	95.1%	86.2%
	被扶養者計		75,773	—	881,681	11,636	45,976	104.7%	—	125.5%	119.8%	134.1%
	高齢者	高齢者療養給付費	1,662	2,722	38,221	22,997	1,993	84.3%	87.1%	107.0%	126.9%	114.3%
		高齢者減免額	0	0	0	—	—	—	—	—	—	—
	高齢者計		1,662	2,722	38,221	22,997	1,993	84.3%	—	107.0%	126.9%	114.3%
	高額療養費		783	—	39,520	50,473	2,061	107.4%	—	108.4%	100.9%	115.8%
	高額介護合算療養費		0	—	0	0	0	—	—	—	—	—
	法定給付費総計		322,608	—	4,024,236	12,474	209,847	101.9%	—	106.9%	104.9%	114.2%
付加給付	被保険者	一部負担還元金	1,879	—	50,553	26,904	2,636	91.3%	—	90.9%	99.6%	97.1%
		訪問看護療養費付加金	0	—	0	—	—	—	—	—	—	—
		小計	1,879	—	50,553	26,904	2,636	91.3%	—	90.9%	99.6%	97.1%
	合算高額療養費付加金		170	—	6,516	38,329	340	123.2%	—	113.0%	91.8%	120.8%
	付加給付費総計		2,049	—	57,069	27,852	2,976	93.3%	—	93.0%	99.7%	99.3%
	保険給付費総計		324,657	—	4,081,305	12,571	212,823	101.8%	—	106.7%	104.8%	114.0%

２．限度額適用認定証の実施状況

実施件数	高額療養費支払額	対前年比
826 件	136,793,455 円	92.9%

３．療養費支給申請書の点検実施状況

区 分		本人	前年比	家族	前年比
補装具	支給件数	69 件	89.6%	62 件	124.0%
	支給金額	1,803,944 円	116.9%	1,681,969 円	120.8%
	不支給件数	23 件	143.8%	5 件	100.0%
	不支給金額	489,759 円	124.6%	127,504 円	104.6%
はり・きゅう	支給件数	30 件	73.2%	0 件	－
	支給金額	147,882 円	79.3%	0 円	－
	不支給件数	5 件	83.3%	0 件	－
	不支給金額	31,640 円	71.9%	0 円	－
あんま・マッサージ	支給件数	2 件	－	11 件	78.6%
	支給金額	11,564 円	－	307,125 円	79.4%
	不支給件数	0 件	－	0 件	－
	不支給金額	0 円	－	0 円	－
柔道整復	支給件数	5,466 件	100.7%	1,433 件	100.4%
	支給金額	20,396,961 円	97.7%	5,810,594 円	103.1%
	不支給件数	63 件	126.0%	6 件	200.0%
	不支給金額	240,952 円	109.4%	9,968 円	466.9%
海外療養費	支給件数	27 件	385.7%	8 件	114.3%
	支給金額	312,132 円	367.1%	52,465 円	82.5%

４．第三者行為による事故分の求償状況

区 分	自動車事故		バイク・自転車事故		その他の第三者行為	
	件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額
求償対象のもの	8件	899,478円	1件	253,356円	3件	2,434,786円
求償したもの	5件	845,536円	1件	253,356円	2件	881,256円
収納したもの	5件	133,988円	2件	612,146円	2件	881,256円
求償不能のもの	2件	53,942円	0件	0円	1件	1,553,530円

第５ 直営医療機関及び指定医療機関

１．直営医療機関なし

２．指定医療機関なし

第6 保健事業の概要

実施状況													
予算 科目	事業 分類 注1)	事業 名	事業の目的 及び概要	対象者					事業費 (千円)	実施状況・時期			評価 注2)
				資 格	対象 事業所	性 別	年 齢	対象者		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
特定健康診査 事業	1	特定健診 (強制被保険者)	【目的】内臓脂肪型肥満に着目した生活習慣病予防対象者の発見 【概要】事業主が行う定期健診と併せて共同実施	被保険者	全事業所	男 女	40 ～ 74	全員	-	受診者数 12,055名	・健診システムを使用して受診		4
	1	特定健診 (任意継続者)	【目的】内臓脂肪型肥満に着目した生活習慣病予防対象者の発見 【概要】従業員時と同じ健診機関と委託契約し、任意継続移行後も受診機会を維持	被保険者	-	男 女	40 ～ 74	全員	1,735	案内件数 268名 受診者数 187名 7月～12月実施 受診率69.8% (前年比0.5%増)	・健診期間を6ヶ月に拡大 ・巡回レディース健診の全国拡大 ・対象医療機関を全国へ拡大(被保険者と統一)		4
	1	特定健診 (被扶養者)	【目的】内臓脂肪型肥満に着目した生活習慣病予防対象者の発見 【概要】従業員と同じ健診機関と委託契約し、被扶養者の受診機会を増加	被扶養者	全事業所	男 女	40 ～ 74	全員	12,824	案内件数 1,845名 受診者数 1,217名 7月～12月実施 受診率66.0% (前年比2.4%増)	・健診期間を6ヶ月に拡大 ・巡回レディース健診の全国拡大 ・対象医療機関を全国へ拡大(被保険者と統一)		5
	7	その他	特定健康診査に付随するもの (案内送付、情報提供、システム費用等)				～		997	-			-
特定保健指導 事業	3	特定保健指導 (被保険者)	【目的】特定健康診査により抽出された対象者の生活習慣改善策実施による疾病予防 【概要】対象者抽出後、委託業者により実施	被保険者	全事業所	男 女	40 ～ 74	基準 該当者	23,701	【動機付け支援】 446件 【積極的支援】 377件	・三越伊勢丹HDSと連名による受診案内を実施	・特定保健指導の有効性の周知	3
	3	特定保健指導 (被扶養者)	【目的】特定健康診査により抽出された対象者の生活習慣改善策実施による疾病予防 【概要】対象者抽出後、委託業者により実施	被扶養者	全事業所	男 女	40 ～ 74	基準 該当者	80	【動機付け支援】 2件 【積極的支援】 1名		・特定保健指導の有効性の周知	3
	7	その他	特定保健指導に付随するもの (教材費、研修費など)				～		1,128	-			-
保健指導宣伝	7	広報誌	【目的】情報提供、健康意識の醸成 【概要】広報誌(健保の運営状況・収支状況・健康診断・健康情報のお知らせ及び公示)の発行	被保険者	全事業所	男 女	18 ～ 74	全員	1,485	年4回発行	・ホームページ掲載(WEB化)	・確実に閲覧してもらうための施策	3
	7	医療費通知	【目的】各人の医療費の周知徹底と医療費抑制 【概要】医療機関における診療履歴と医療実績を通知		全事業所	男 女	18 ～ 74	全員	1,766	毎月	・MY HEALTH WEBからのシングルサインオンによるかんたんログイン	・公開目的の周知・理解促進	1
	7	ジェネリック 促進通知	【目的】医療費(薬剤)抑制 【概要】ジェネリック未使用者への利用促進啓蒙		全事業所	男 女	18 ～ 74	基準 該当者	264	毎月	・医療費通知にジェネリックを使用した場合の金額を併せて記載	・公開目的の周知・理解促進	1

予算 科目	事業 分類 注1)	事業 名	事業の目的 及び概要	対象者					事業費 (千円)	実施状況・時期			評価 注2)
				資 格	対象 事業所	性 別	年 齢	対象者		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
保健指導宣伝	4	新聞パンフレットの配布	【目的】議員、事業所担当者、被保険者等への情報提供 【概要】パンフレットや冊子の購入、配布	被保険者	全事業所	男 女	18 ～ 74	基準 該当者	658	-	・つよい子キャンペーンで健康教育を実施		-
	4	保健事業補助費	【目的】事業所固有の健康課題の解決、健康意識の醸成 【概要】各事業所の保健指導企画、保健情報発信を補助	被保険者	全事業所	男 女	18 ～ 74	全員	1,443	16事業所・店舗中 15か所で実施	・事業所の課題に則した事業が可能 ・ヘルスリテラシーの向上	・保健室が無く実施できない事業所がある	4
	7	保健スタッフ・事務担当者研究会	健保事業をサポートする部門の担当者を対象とする情報提供及び情報交換会費用等	-	全事業所	-	- ～ -	-	0	①保健スタッフ・②事務担当者研究会 ①3月実施(Teams会議) ②12月～1月に14事業所をWEB訪問(Teams会議)	・情報提供や情報交換の場として活用 ・コロナ禍によりリモート活用によるMTGを実施	・情報提供に偏る傾向	3
	4	HPVセルフチェック	【目的】HPVウイルスの感染チェックによる早期発見と治療 【概要】希望者にセルフチェックキットを配布。HPVのウイルス感染チェックを実施。	被保険者	指定事業所	女	22 ～ 34	全員	385	案内 263名 実施者 67名 (実施率 25.4%)	・メールによる勧奨 ・案内に説明動画(リンク)を添付		5
	4	その他	保健指導宣伝費に付随するもの(がん対策・教育・啓蒙など)				～		5,644	-			-
疾病予防	1	人間ドック	【目的】深部疾病の早期発見 【概要】対象者(40歳・45歳・50歳・55歳)への費用全額補助	被保険者	全事業所	男 女	40 ～ 55	基準年齢 該当者	103,358	受診者数 1,798名	・事業所の定期健康診断との共同実施 ・健診システムを使用して受診		5
	1	従業員健診(付加項目)	【目的】健康状態の確認、疾病の早期発見 【概要】血液検査やがん検診など、年齢ごとに付加項目を設定し、事業主の法定項目と共同実施	被保険者	全事業所	男 女	18 ～ 74	全員	205,146	受診者数 16,463名	・事業所の定期健康診断との共同実施		5
	1	任意継続者健診(付加項目)	【目的】任継続被保険者の健康状態の確認、疾病の早期発見 【概要】特定健診に対し健保で項目を付加し、委託健診機関において、本人負担額なしで実施。	被保険者	-	男 女	30 ～ 74	全員	916	受診者数 185名 7月～12月実施		・ヘルスリテラシーの向上	4
	1	被扶養者健診(付加項目)	【目的】被扶養者の健康状態の確認、疾病の早期発見 【概要】特定健診に対し健保で項目を付加し、委託健診機関において、本人負担額なしで実施。	被扶養者	全事業所	男 女	30 ～ 74	全員	7,791	受診者数 1,212名 7月～12月実施	・居住者分布に合わせた健診機関の設定		5
	4	無料歯科検診	【目的】口腔内環境が口腔内疾病に止まらず、全身への影響があることの周知と、その予防対策 【概要】委託先(歯科健診センター)を介しての無料歯科検診実施		全事業所	男 女	～	全員	95	申込者数 56名 通年	・対象者を全組合員に拡大 ・受診期間を通年に拡大 ・社内SNSやホームページを活用したお知らせ	・目的や効果が伝わっていない	5
	7	乳がん検診	【目的】がん罹患の早期発見 【概要】巡回バスで各事業所を回り希望者に乳がん検診を実施	被保険者	全事業所	女	30 ～ 74	全員	2,920	受診者数 450名 7事業所・店舗で実施	・希望事業所に自己負担5,000円で実施 ・マンモグラフィとエコーの併用検査	・都内で巡回バスの駐車場所がない店舗への対応	5
	4	口腔セルフチェック・ケア	【目的】口腔内環境が口腔内疾病に止まらず、全身への影響があることの周知と、その予防対策 【概要】希望者にチェックキットやアプリを配布。口腔内のチェックやセルフケアを実施	被保険者	指定事業所	男 女	18 ～ 74	基準 該当者	1,136	案内数 289名 実施者 96名 (実施率 33.2%)	・該当者全員にセルフキットとアプリを配布		5

予算 科目	事業 分類 注1)	事業 名	事業の目的 及び概要	対象者					事業費 (千円)	実施状況・時期			評価 注2)
				資 格	対象 事業所	性 別	年 齢	対象者		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
疾病予防	7	禁煙対策	【目的】喫煙者の禁煙対策 【概要】遠隔禁煙プログラムを実施	被保険者	全事業所	男 女	18 ～ 74	全員	3,383	【オンライン禁煙事業】 実施/終了数 54名/41名 成功率 65.9%※R4.3現在 【参加勧奨】 案内/実施数 184名/19名 実施率10.3%	・ニコチンパッチを使用したサポートによる オンライン禁煙治療を実施 ・岩盤層（特に若年層）への早期介入目的にて 参加勧奨を実施	・内服薬提供停止のため1社実施停止 （CureApp社のみ実施）	3
	7	インフルエンザ 予防接種	【目的】冬のインフルエンザ感染予防 【概要】①各事業所での集団接種を自己 負担金1,000円で実施②希望医療機関 実施に対して上限2,500円補助		全事業所	男 女	18 ～ 74	全員	26,268	実施者数 10,436名 事業所まとめ 9,290名 補助金申請 1,146名 実施:10月～12月（事業所） 10月～2月（補助金）	・昨年よりも実施日数を増加 ・補助金対象を加入者に拡大	・コロナワクチン接種重複の影響	4
	7	高齢者疾病予防	【目的】健康意識を高め、生活習慣を見 直す 【概要】委託先より対象者へアンケートを 実施、その回答から生活習慣の改善点等 を電話指導	被扶養者	全事業所	男 女	60 ～ 74	偶数年齢 該当者	830	案内数130名 回答数63名 1回目実施 37名 （実施率28.5%） 2回目実施 24名 （実施率18.5%）		・2年に1度の実施の効果検証	5
	3	重症化予防事業	【目的】①糖尿病、高血圧症の重症化防 止②脳・心血管疾患再発予防 【概要】専門業者に委託し、健診・レセ データ突合による介入対象者抽出、案内 送付、専門医紹介、定期確認を実施② 6ヶ月（12回）の電話指導	被保険者	全事業所	男 女	18 ～ 60	基準 該当者	5,836	【血圧・血糖対象】（総医研） 案内160名 紹介20名 定期確認142件（累計） 【再発予防】（プリベント） 案内数74名 実施8名	・定期的に対象者抽出・案内実施（委託）		5
	7	健診委託事業 運営費	健診システムの運用費と健診代行に係る 諸費用		全事業所	男 女	18 ～ 74	全員	45,479	-			-
	7	市販薬購入	【目的】市販薬を購入してもらうことでセル フメディケーションを推進 【概要】一般用医薬品の斡旋販売、配送 料の補助を実施	被保険者	全事業所	男 女	18 ～ 74	全員	390	送料補助 516名 購入者数 1,160名 平均購入単価 5,490円	・セルフメディケーションについての啓発 ・ヤマーやHPでの事業周知	・コロナ対策による、マスク等衛生用品及び 風邪薬等の需要低下	2
	7	その他					～		7,051	-			-
体育奨励													
直営保養所													
その他	7	健康管理推進	【目的】健康保険組合の理事会の諮問機 関として運営 【概要】健康管理・健康問題に関し、母体 企業（人事および健康管理推進室）・労 働組合・健保組合が共同で組織				～		0	1回開催	【議題】 ・令和4年度保健事業実施計画 ・組合員の健康意識向上に向けた施策について		3
（予算措置 なし）	7	健康管理定例会	【目的】保健事業に関する課題解決 【概要】母体企業と健康管理推進室、健 保の三者による定例会議				～		-	実施せず		・健康管理システム導入時は定期的に開催 していたが、導入後、必要性がうすれた	-

注1) 1. 健康診査
2. 健康診査後の通知
3. 保健指導
4. 健康教育
5. 健康相談
6. 訪問指導
7. その他

注2) 1. 40%未満
2. 40%以上
3. 60%以上
4. 80%以上
5. 100%以上

第 7 営 繕 費 の 概 要

(単位 円)	
内 容	決 算 額
1. 請負費	
健診システム SSO連携初期設定費用	165,000
MY HEALTH WEB バリユーHRシステムSSO連携初期設定費用	110,000
MY HEALTH WEB インフルエンザ予約機能初期設定費用	220,000
合 計	495,000

第 8 決 算 残 金 処 分

1. 一般勘定 (単位 円)			
決 算 状 況		決 算 残 金 処 分	
収 入 決 算 額	10,368,150,296	準 備 金 積 立 金	0
支 出 決 算 額	9,412,961,624	別 途 積 立 金 積 立 額	954,584,460
		繰 越 金	0
差 引 決 算 残 金	955,188,672	財 政 調 整 事 業 繰 越 金	604,212

2. 介護勘定 (単位 円)			
決 算 状 況		決 算 残 金 処 分	
収 入 決 算 額	999,825,821	準 備 金 積 立 金	81,140,509
支 出 決 算 額	918,685,312		
差 引 決 算 残 金	81,140,509	繰 越 金	0

第 9 財 産 の 異 動 状 況

1. 一般勘定							(単位 円)	
項 目	前 年 度 末 現 在		本 年 度 中 異 動				本 年 度 末 現 在	
	数 量	金額または価格	増		減		数 量	金額または価格
			数 量	金額または価格	数 量	金額または価格		
準 備 金		2,390,866,376		9,931,000		9,931,000		2,390,866,376
別途積立金		5,953,479,743		954,584,460		2,000,000,000		4,908,064,203
退職積立金		15,130,000		1,467,000		3,367,000		13,230,000
土 地		0						0
建 物		0						0
建物附属設備	6件	804,834		0		101,934	6件	702,900
構 築 物		0						0
器 具／備 品	25件	5,298,081	3件	495,000	2件	1,647,595	26件	4,145,486
合 計		8,365,579,034		966,477,460		2,015,047,529		7,317,008,965

2. 介護勘定							(単位 円)	
前 年 度 末 現 在			本 年 度 中 異 動				本 年 度 末 現 在	
項 目	数 量	金額または価格	増		減		数 量	金額または価格
			数 量	金額または価格	数 量	金額または価格		
準 備 金		333,913,006		81,140,509		120,000,000		295,053,515

第 10 組 合 債

記載事項はありません

第11 その他重要事項

1. 監督庁の認可事項

令和4年 3月 22日 組合規約変更認可申請書(規約の一部変更)

2. 監督庁の届出事項

令和3年 4月 1日 理事長就任及び退任届

令和3年 4月 19日 組合規約変更届出書
(事業所所在地変更 レオテックス)

令和3年 4月 26日 組合規約変更届出書
(事業所削除 三越伊勢丹研究所)

令和3年 8月 16日 組合規約変更届出書
(事業所所在地変更 三越伊勢丹ヒューマン・ソリューションズ)
(事業所所在地変更 エムアイ友の会)
組合規程変更届出書

個人情報保護管理規程「別表 2」の一部変更

令和3年 9月 3日 組合規程変更届出書
被扶養者の認定基準の一部変更

令和3年 10月 25日 組合規程変更届出書
個人情報保護管理規程「別表 2」の一部変更

令和3年 11月 29日 組合規程変更届出書
被扶養者の認定基準の一部変更(修正)

令和4年 3月 22日 組合規程制定・改正・廃止届出書
組合会議員選挙執行規程・会計事務取扱規程・財産管理規程
文書保存規程・一部負担還元金支給手続規程・付加給付支給規程
療養費付加金支給細則・高額療養費支給手続規程
高額療養費資金貸付規程・出産費資金貸付規程
出産育児一時金等内払金支払規程・情報セキュリティ基本方針
システム等運用管理規程

3. 議員・理事・監事の異動

令和3年4月1日付を以って、事業主より組合会議員の選定通知があり次のとおり就任した。

藤森 健至 小林 文子 早川 正一

令和3年4月1日、組合会選定議員の退任に伴い選定側理事の補欠選挙が行われ次の通り就任した。

藤森 健至

令和3年4月1日、理事長の退任に伴い、理事長の選挙が行われ次の通り就任した。

藤森 健至

令和3年5月31日、組合会互選議員の退任に伴い、互選議員の補欠選挙が行われ、次のとおり就任した。

林 佳弘

令和3年6月18日、組合会において監事選挙が行われ、次のとおり就任した。

田中 昭宏

令和3年8月1日付を以って、事業主より組合会議員の選定通知があり次のとおり就任した。

渡辺 洋子 村上 寛昭

令和3年11月5日、組合会互選議員の退任に伴い、互選議員の補欠選挙が行われ、次のとおり就任した。

山口 善崇 田中 剛

令和3年11月5日、組合会互選議員の退任に伴い、互選理事の補欠選挙が行われ、次のとおり就任した。

津田 陽介

令和3年11月26日、組合会において監事選挙が行われ、次のとおり就任した。

内田 高史

4. 理事会の開催

令和3年	4月	1日	常務理事選任に関する件
令和3年	5月	21日	組合会互選議員補欠選挙及び互選監事選挙実施に関する件
令和3年	7月	12日	令和2年度 決算 他
令和3年	10月	25日	組合会互選議員補欠選挙実施に関する件
令和3年	11月	10日	互選理事補欠選挙及び互選監事選挙実施に関する件
令和4年	2月	14日	令和4年度 予算 他
令和4年	2月	21日	修正動議 令和4年度 予算 他
令和4年	3月	25日	選定理事補欠選挙実施に関する件

以上のとおり報告する。

令和4年 7月 27日

三越伊勢丹健康保険組合
理事長 藤森 健至

第 12 三越伊勢丹健康保険組合財産目録

1. 一般勘定

令和4年3月31日現在

種別		数量	金額または価格	備 考
法定準備金	金員	普通預金	3 件 51,409,376 円	三菱UFJ信託銀行 三菱UFJ銀行 三井住友銀行
		定期預金	9 件 2,300,000,000 円	三菱UFJ信託銀行 三菱UFJ銀行 三井住友銀行
		委 託 金	1 件 39,457,000 円	社会保険診療報酬支払基金
	計		13 件 2,390,866,376 円	
別途積立金	金員	普通預金	3 件 1,808,064,203 円	三菱UFJ信託銀行 三菱UFJ銀行 三井住友銀行
		定期預金	5 件 3,100,000,000 円	三菱UFJ信託銀行 三菱UFJ銀行 三井住友銀行
	計		7 件 4,908,064,203 円	
退職積立金	金員	普通預金	1 件 13,230,000 円	三菱UFJ信託銀行
		定期預金	件 0 円	三菱UFJ信託銀行
	計		1 件 13,230,000 円	
その他財産	土 地		m ² 円	
	建 物		件 円	
	建物附属設備		6 件 702,900 円	
	構築物		件 円	
	器具・備品		26 件 4,145,486 円	
	計		32 件 4,848,386 円	
総 計		53 件	7,317,008,965 円	

2. 介護勘定

種別			数量	金額または価格	備 考
法定準備金	金員	普通預金	2 件	295, 053, 515 円	三菱UFJ銀行 三井住友銀行
		定期預金	件	0 円	三菱UFJ銀行
総 計			2 件	295, 053, 515 円	

※一般勘定の別途積立金には3年度決算残金処分 954,584,460円を含む

※介護勘定の法定準備金には3年度決算残金処分 81,140,509円を含む